

認知症フレンドリー社会

～認知症の課題を切り口に新しい社会のデザインを考える～

NPO法人認知症フレンドシップクラブ

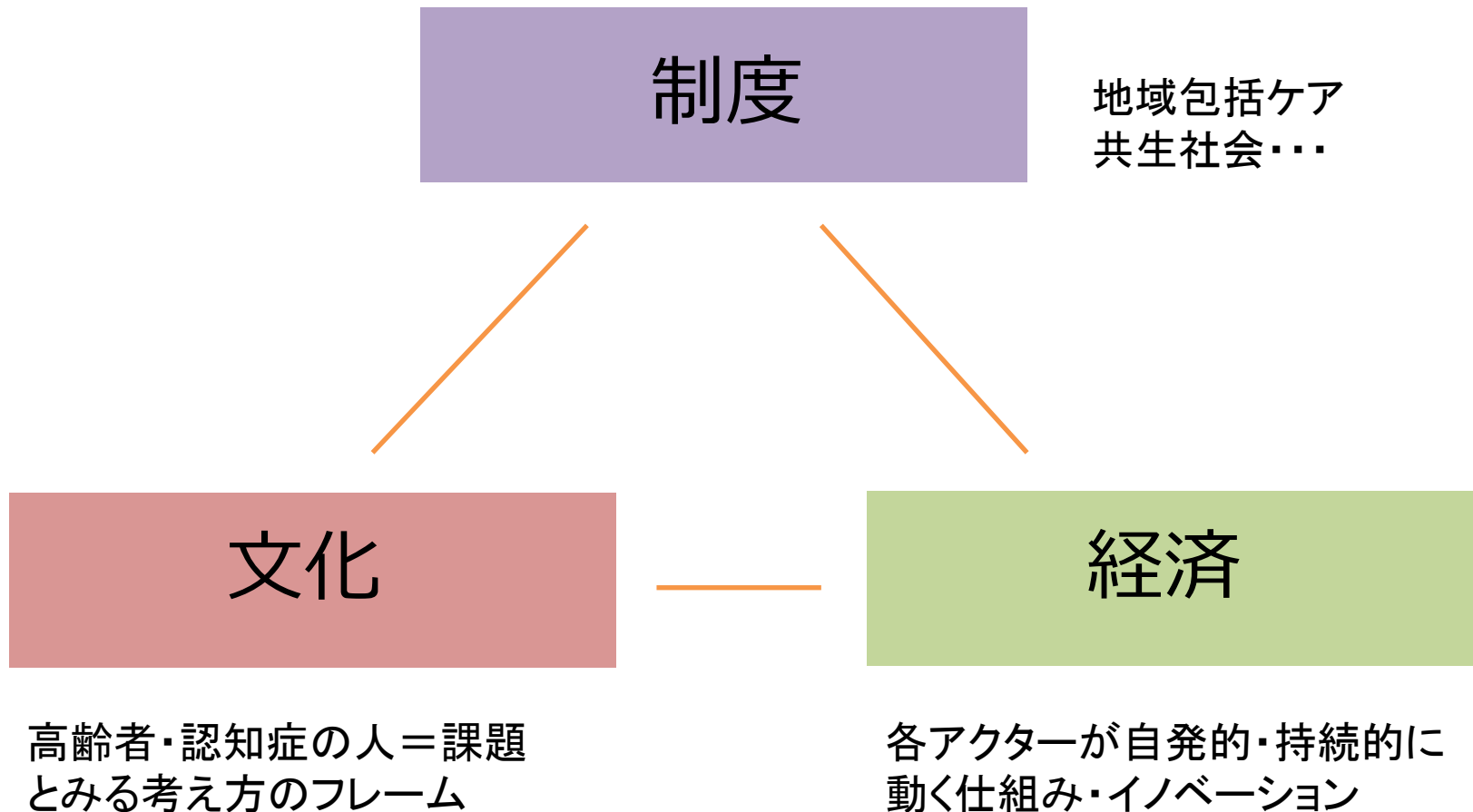
徳田 雄人

自己紹介

- NHKのディレクター
「生活ほっとモーニング」「NHKスペシャル」などで
認知症の番組を制作
- NPO法人認知症フレンドシップクラブ
認知症フレンドリーコミュニティのネットワーク
自治体・企業・大学などと協働プロジェクト

認知症の人と地域の人とのタスキリレーRUN伴
認知症フレンドリーコミュニティ推進事業（町田市）
- オンラインストアdfshopの運営

超高齢社会のデザイン



対処療法の悪循環

認知症・高齢者ドライバーの事故



免許更新の厳格化・免許返納の推進



大半が公共交通機関で代替できない



外出機会・社会参加の減少



身体機能や生活の質の低下

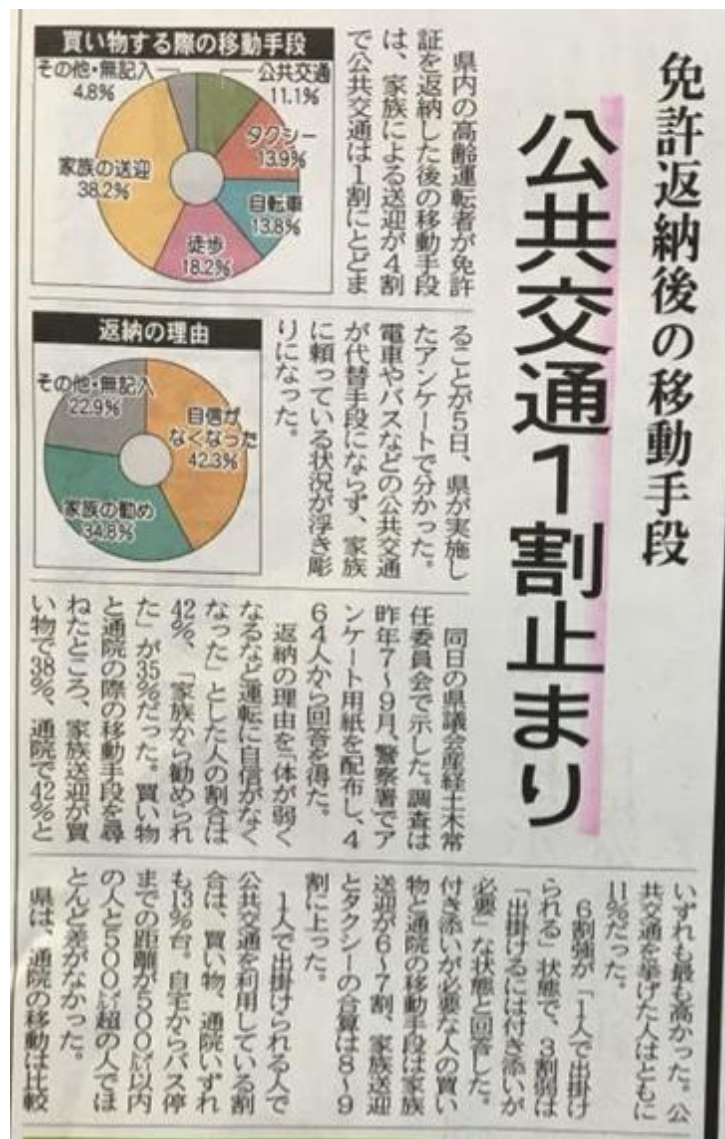


医療介護サービス費の増大



社会コスト全体の増大

局所的には合理的な対策の集合が
全体として非合理的な結果を生んでいる



RUN伴/RUN TOMOとは

- ✓ RUN伴※は、認知症の人と一緒にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する活動
- ✓ 2011年に始まり、今年で8回目
- ✓ 認知症をテーマにしたイベントでは、日本で最大級のイベント
- ✓ 去年は台湾でも開催も、将来的にアジアや欧州での開催も計画



実績（2017）

参加者数	14521人（うち、当事者1607人）
実施エリア	41都道府県（うち8県は姉妹イベントとして実施）
開催期間	7月-11月 土日祝日を中心に開催
参加者属性	認知症の人、家族、医療福祉関係者、行政、商店、企業関係者、学校関係者、学生・生徒、一般市民 など

※RUN伴は、NPO法人認知症フレンドシップクラブの登録商標です。

メディア掲載・受賞歴

医療福祉の領域に留まらず、各種メディアに掲載、SNS上で広まっています。
認知症をテーマにした日本最大級のプラットフォームです。



2014年
10月22日
夕刊一面
(読売新聞)

<メディア掲載（実績）>

読売新聞、産経新聞、朝日新聞
各種ローカル紙、NHK・民放各社
ウェブメディア各種



RUN伴ショートムービー特設サイト

<http://runtomorrow.jp/>

映像再生回数 20000+

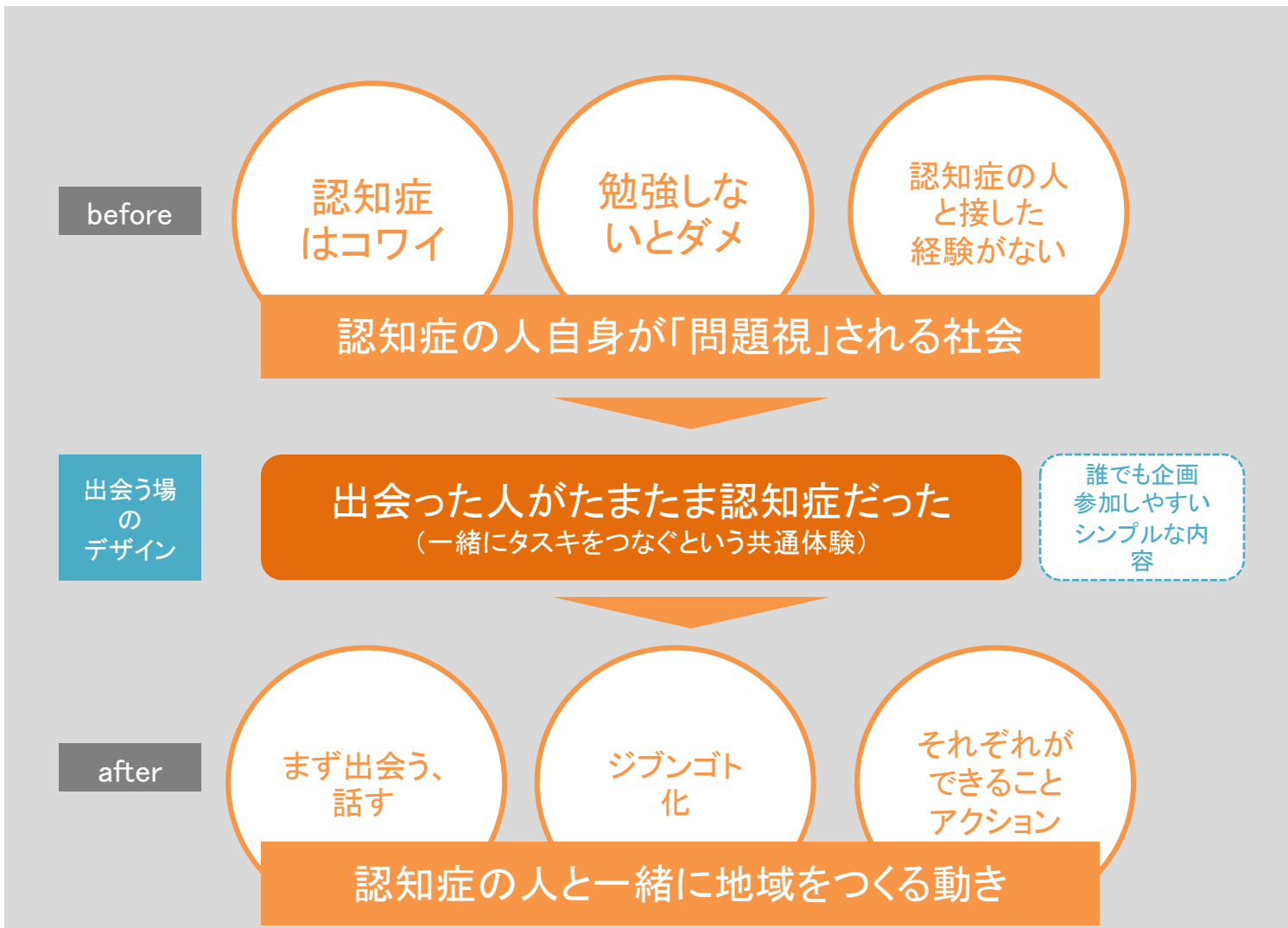


RUN伴FBページ
いいね 7300+



GOOD DESIGN AWARD
2016年度受賞

RUN伴が目指すコト



RUN伴により生まれる動き

認知症の人と伴に地域づくりをするチャレンジの応援の仕組み、まちづくりを担うチームづくり、地域や国境を超えたネットワークが生まれています。



認知症まちづくり基金 be Orange



認知症まちづくりファシリテーター講座

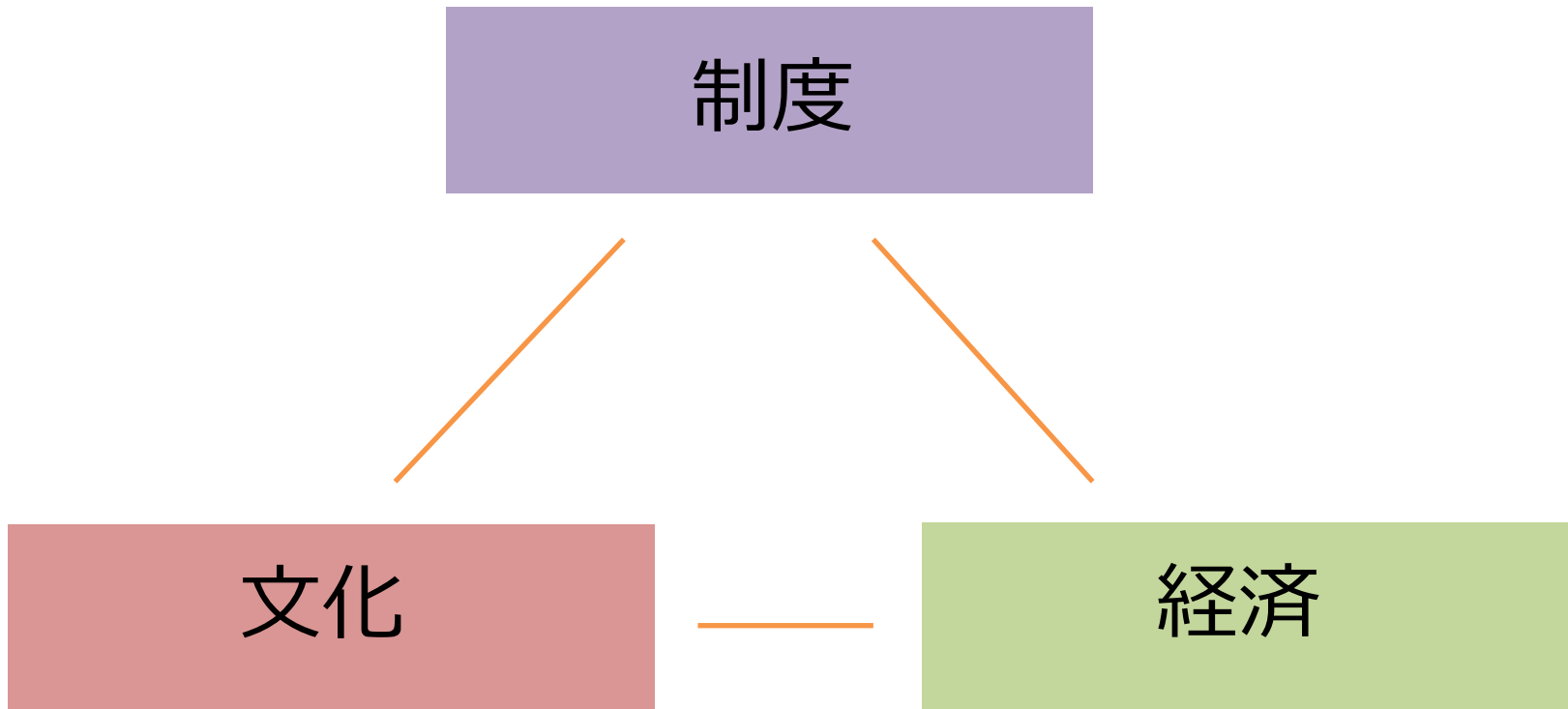


認知症ネットワークフォーラム



海外との交流（台湾での開催）

認知症になっても外出して 楽しい時間を過ごせるまちとは？





認知症になることで、
外出や交流の機会が減っています。

(「回数や頻度が減った」、「活動をやめた」と答えた人の割合)



「友人や知人と会う」
機会が減った

69.2%



「電車やバスなどの利用」
が減った

67.8%



「買い物」に行く機会が
減った

67.8%



「外食に行く」
機会が減った

60.1%



活動や交流の減少には、
理由があります。

(認知症の人が日常生活のなかで困っていること)

(「困っている」、「活動の妨げとなっている」と答えた人の割合)



駅構内で迷ったり、
適切なバス停を探すのが難しい

50.7%



券売機や自動改札など
機械操作が難しい

49.7%



ATM の操作が
難しい

43.5%



電話や携帯、メールなどの
通信機器を使うことが難しい

43.5%

 「こんなサービスがあったら、地域でもっと暮らしやすくなる」
認知症の人たちから、こんなサービスや改善が求められています。

(認知症の方が地域で暮らしやすくなるために「あったらいいと思う」と答えた人の割合)



スーパーや商店などで商品選びや支払いを手伝ってくれる「買い物サポーター」

66%



認知症の人でも安心して利用できるお店や機関の認定や紹介

65%



銀行や駅などで、人が対応してくれる窓口や、インターホンの設置

64%



時間がかかっても大丈夫なレジ「スローレーン」の設置

60%



行き先(バス停や駅など)についたら知らせしてくれるサービス

57%



認知症フレンドリーコミュニティ

英国での定義

A dementia-friendly community is one in which people with dementia are empowered to have high aspirations and feel confident, knowing they can contribute and participate in activities that are meaningful to them.



意欲 自信 意義ある活動に参加 貢献できている

(英国アルツハイマー協会報告書 Building Dementia-Friendly-Communities; A Priority for everyone)

2013

- 20 communities working to become dementia friendly
- 10% of England covered by a Local Dementia Action Alliance
- Low awareness and understanding
- Low Local Authority engagement



2017

- 234 communities working to become dementia friendly
- 75% of England is covered by a Local Dementia Action Alliance
- Nearly 2m Dementia Friends
- 55 Local Authorities currently registered under DAA and DFC



I want to make London
dementia friendly...

Leading the fight
against dementia
Alzheimer's
Society



alzhaimers.org.uk



DAA(認知症アクション連盟)

DAAとは(プリマス市の場合)

プリマス認知症アクション連盟に参加する組織



英国アルツハイマー
協会



高齢者関係
の団体



プリマス市役所
(福祉部門以外も広く参加)



市バス



学校



病院



図書館



海軍基地



消防署



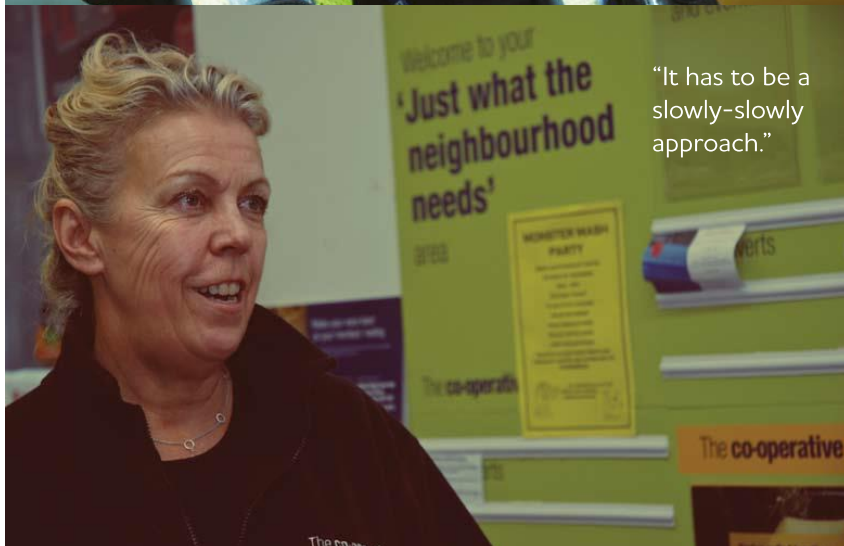
教会



大学

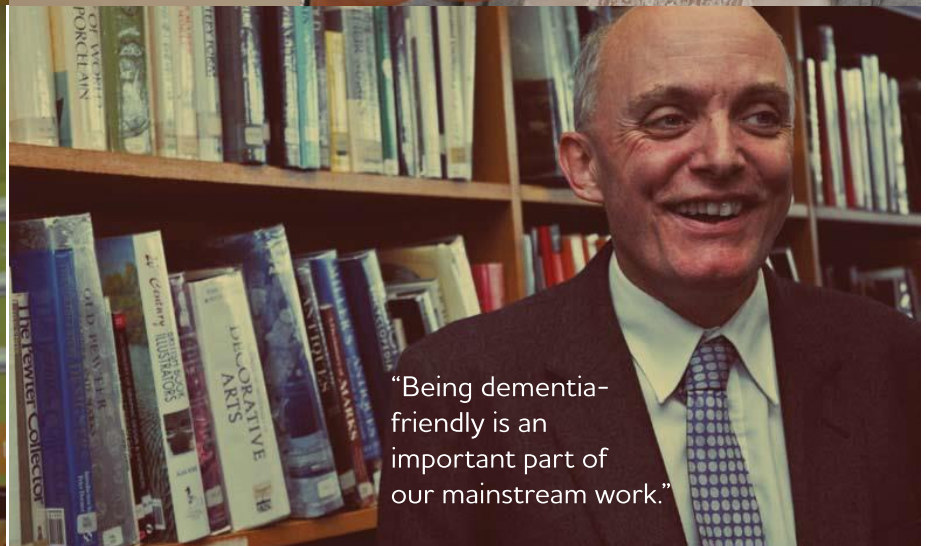
など…

ヨーク駅鉄道警察



スーパーマーケット

行政・犯罪被害防止担当



図書館

学校



病院

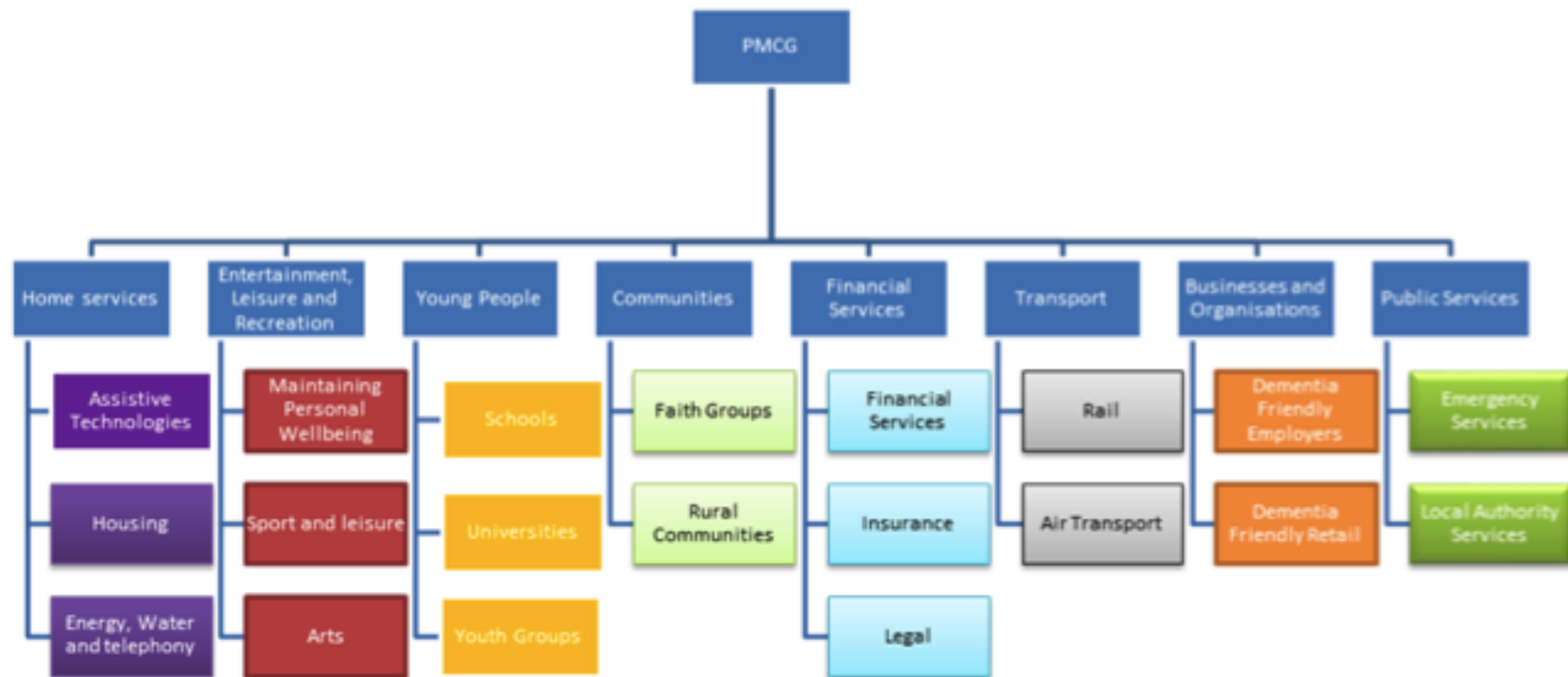


フィットネス施設（公共）

観光案内所

Cross-sector buy-in

e.g. via Prime Minister's Champion Group – including task & finish groups



Influencing national organisations to support people affected by dementia

Producing guidance across sectors and to support local communities



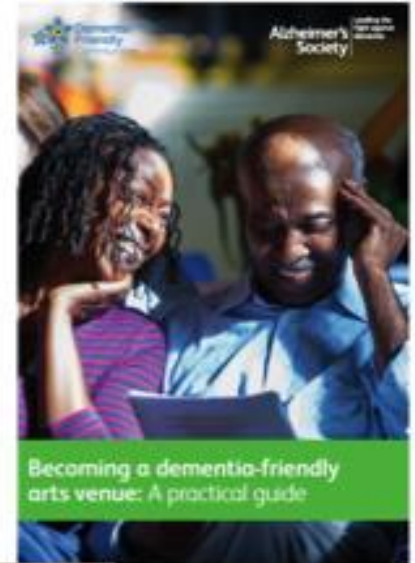
Dementia-friendly technology

A charter that helps many people with dementia connect with technology that meets their needs



Alzheimer's Society

bsi.



Becoming a dementia-friendly arts venue: A practical guide

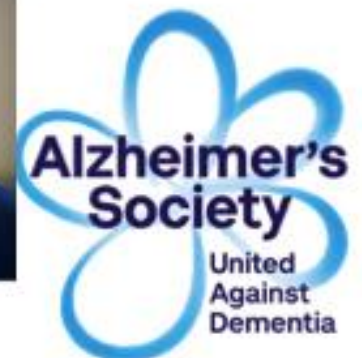


Becoming a dementia-friendly retailer: A practical guide



Creating a dementia-friendly workplace

A practical guide for employers



イタリア

Azienda di Servizi
alla Persona
Golgi-Redelli

XXIII GIORNATA MONDIALE ALZHEIMER



ABBIATEGRASSO

**CONVEGNO APERTO
ALLA POPOLAZIONE**
sabato 17 settembre 2016
AUDITORIUM EX CONVENTO
DELL'ANNUNCIATA
via Pontida, 1 Abbiategrasso

**DEMENTIA
FRIENDLY
COMMUNITY**

La prima comunità in Italia
amica delle persone con demenza.



ベルギー



**Bruges,
Belgium 1st
Dementia
Friendly City**



ニュージーランド



Australia



Belgium



Canada



Costa Rica



England



Indonesia



India



Ireland



Japan



Nigeria



Northern Ireland



South Korea



Singapore



Taiwan



United States





誰もが普通に暮らせる
社会の設計



当事者・家族・自治
体・企業・福祉など



認知症の人と一緒に考える
各セクターのチャレンジ
商品サービスの創出



認知症の人のQOL
社会環境のフレンドリー度
認知症の人の声の反映度

基本理念

取り組みの 主体

取り組みの 内容

成果指標



社会的負担の軽減



専門家



正しいケア
住民の啓発・活用
企業は社会貢献アプローチ



事件・事故や
"問題行動"の減少
介護者の負担軽減

認知症の人の行方不明の課題を例にすると・・・



認知症の人が安心して
移動できるための仕組みは？

高齢者や子どもも安心して
移動できる町のデザインは？

企業やセクター横断で
新しい事業を創造できないか？



事故が起こらないように
安全対策を強化するには？

事故が起こったら、
誰の責任？ 損害賠償は？

事故を起こさないよう
効率的に監視する仕組みは？

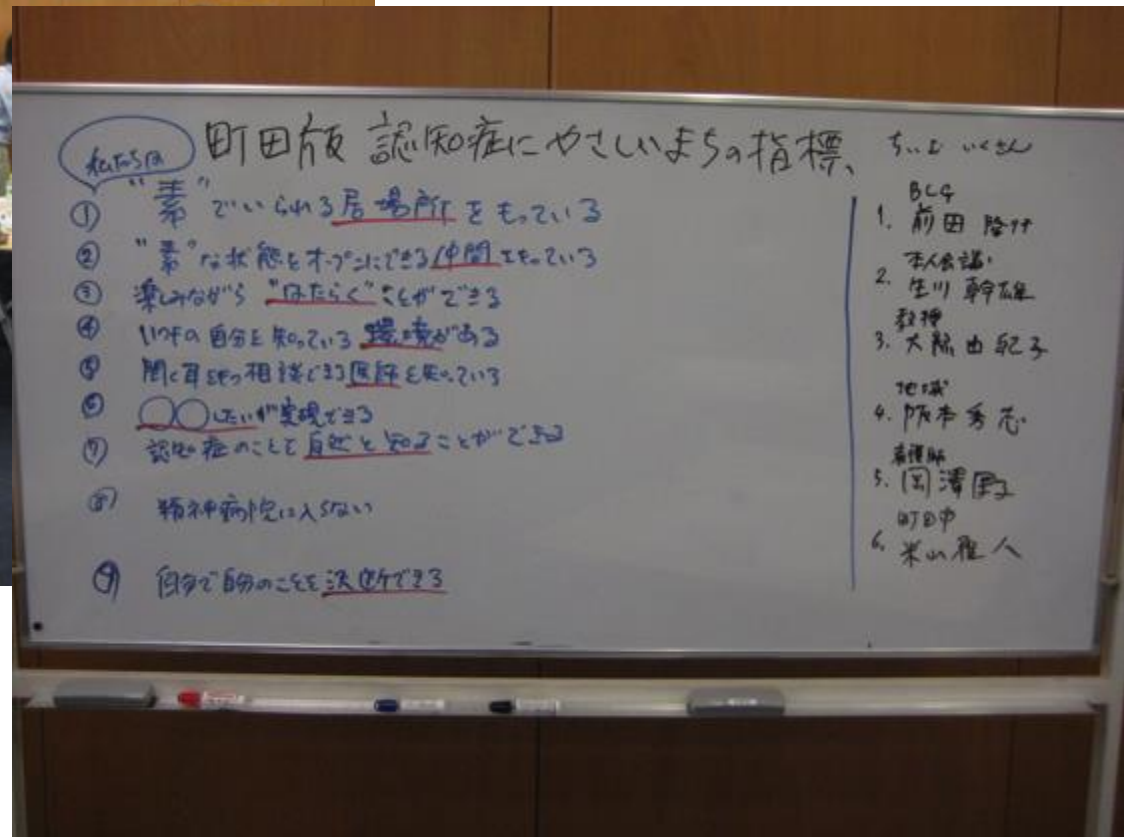


みんながつくる 認知症フレンドリーまちだ



* 表紙のデザインは変更される場合があります

町田市の取り組み



Dementia Friendly Community Outcome Index in Machida City (Tokyo)

16 “I” Statements

- 1 私は、早期に診断を受け、その後の治療や暮らしについて、主体的に考えられる。
- 2 私は、必要な支援の選択肢を幅広く持ち、自分に合った支援を選べる。
- 3 私は、望まない形で、病院・介護施設などに入れられることはない。
望む場所で、尊厳と敬意をもって安らかな死を迎えることができる。
- 4 私は、私の言葉に耳を傾け、ともに考えてくれる医師がいる。
- 5 私は、家族に自分の気持ちを伝えることができ、家族に受け入れられている。
- 6 私の介護者は、その役割が尊重され、介護者のための適切な支援を受けている
- 7 私は、素でいられる居場所と仲間を持っており、一緒の時間を楽しんだり、自分が困っていることを話せる
- 8 私は、趣味や長年の習慣を続けている

Dementia Friendly Community Outcome Index in Machida City (Tokyo)

16 “I” Statements

- | | |
|----|---|
| 9 | 私は、しごとや地域の活動を通じて、やりたいことにチャレンジし、地域や社会に貢献している |
| 10 | 私は、認知症について、地域の中で自然に学ぶ機会を持っている |
| 11 | 私は、経済的な支援に関する情報を持っており、経済面で生活の見通しが立っている |
| 12 | 私は、地域や自治体に対して、自分の体験を語ったり、地域への提言をする機会がある |
| 13 | 私は、認知症であることを理由に差別や特別扱いをされない |
| 14 | 私は、行きたい場所に行くことができ、気兼ねなく、買い物や食事を楽しむことができる |
| 15 | 私は、支援が必要な時に、地域の人からさりげなく助けてもらうことができる |
| 16 | 私たちも、認知症の人にやさしいまちづくりの一員です。 |

スターバックスでの認知症カフェ



ホンダ 認知症の人の働く場づくり



制度

認知症・高齢化の課題を
入り口にイノベーションを起こす

文化

経済

参考

■英国アルツハイマー協会

https://www.alzheimers.org.uk/info/20079/dementia_friendly_communities

■認知症の人にやさしいまちづくりガイド

（平成26年度厚生労働省 老人保健健康増進事業

「認知症の人にやさしいまちづくりの推進に関する調査研究事業」）

<http://www.glocom.ac.jp/news/973> （ダウンロード可）

■Web医療と介護「認知症の課題を地域で考える」

<https://info.shaho.co.jp/iryou/column/201704/1010/>

■老年精神医学雑誌（第28巻第5号（2017.5））

「特集 Dementia Friendly Communityとはなにか」